

令和7年度 姫城中学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

学校名	都城市立姫城中学校		校長名	深江 祐史	
学級数	12学級	児童生徒数	319名	職員数	30名
教育目標	「自立・感謝・貢献」する生徒の育成 ～生徒信条（礼を正し・場を清め・時を守る）を基盤として～				

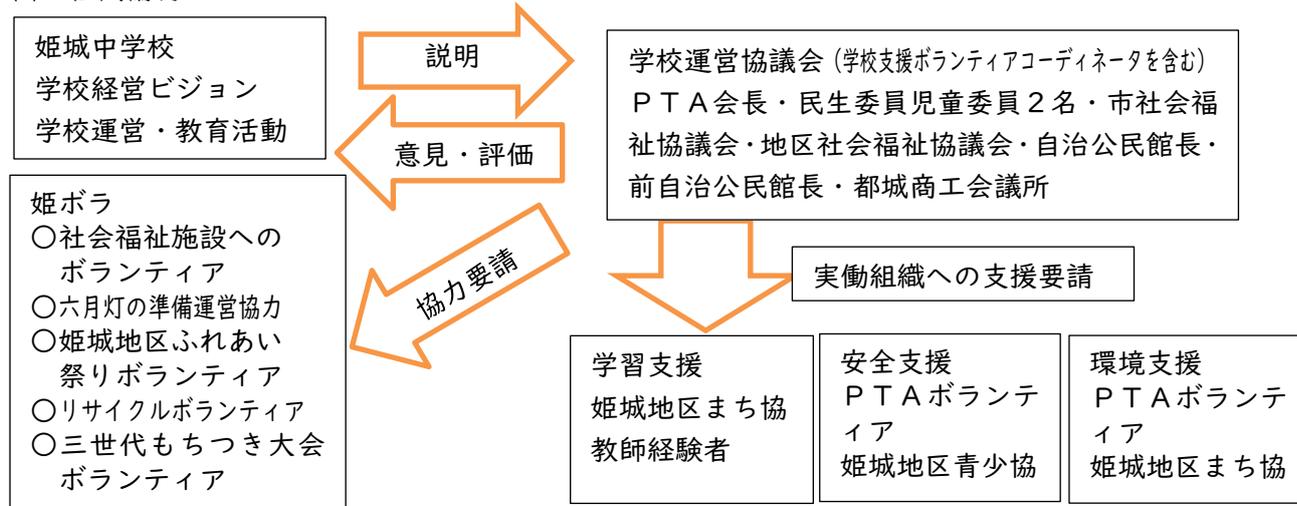
2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員（計8名）・事務局（計4名）

学	No.	所属名（役職）	氏名	備考
校 運 営 協 議 会 委 員	1	本校PTA会長	田中 直貴	会長
	2	都城市社会福祉協議会	星村 太一	副会長
	3	姫城地区自治公民館連絡協議会会長	柿木原康雄	
	4	姫城地区壮年連絡協議会会長	高木かおる	
	5	都城商工会議所 事務局長	河野 謙司	
	6	地区民生委員・主任児童委員	岩崎 元子	
	7	姫城地区社会福祉協議会事務局長	谷口 悦子	
	8	地区民生委員・児童委員	野口 恵子	

	役職	氏名
事 務 局	校長	深江 祐史
	教頭	黒木 秀一
	教務主任	金丸 靖臣
	事務主幹	西山 順子

(2) 組織編制



3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
4月	○学校運営協議会委員選出
5月～6月	○学校運営協議会や地域より姫ボラ活動依頼 → 姫ボラ活動開始
6月 6日	○第1回学校運営協議会（委嘱状交付、学校経営方針説明、質疑・応答）
6月～7月	○学校運営協議会から姫城地区まちづくり協議会へ支援の依頼（土曜学習開始準備）
9月16日	○第2回学校運営協議会（明道小・南小・姫城中の3校合同開催：姫城中学校区の児童生徒の現状と課題、地区への行事の参加、情報交換等）
9月 6日	○姫城地区土曜学習会開始 開講式
10月12日	○体育大会参観
10月23日	○文化発表会参観
10月23日	○第3回学校運営協議会（学校の様子について、情報交換、今後の活動確認）
1月16日	○第4回学校運営協議会（学校評価、本年度のまとめ、情報交換）
1月30日	○都城商工会議所による職業講話（委員によるコーディネート）
2月20日	○第5回学校運営協議会（学校評価、改善事項の協議、次年度教育課程説明）
2月21日	○姫城地区土曜学習会最終日 閉講式

4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

9月：「姫城中学校区の児童・生徒の現状と課題について ～子どもたちのためにできること～」

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

本年度、姫城地区の三校の小中学校の学校運営協議会は、地域社会との連携を通じて、生徒の学習支援とキャリア教育に注力した。まず、地区社会福祉協議会の協力を得て、小学校5年生から中学3年生までの希望する児童生徒を対象に学習支援（姫城地区土曜学習会）を実施した。これは9月から2月までの土曜日（計12回）に、午前9時30分から午前11時30分までの2時間実施されたものである。本年度は11名の生徒が参加し、各自が持参した宿題や教材を、学習支援ボランティアの方々のサポートのもとで取り組んだ。

また、年末の門松作りでは、保護者や地域の姫城中OBの方々等、総勢30名程が集まり、立派な門松を飾っていただいた。

1月30日（金）には、学校運営協議会委員のコーディネートによる「職業講話」を実施した。中学1年生を対象とし、講師は学校運営協議会委員（都城商工会議所所属）に選出いただいた都城に根ざした7つの企業の方々である。生徒たちは、働くことの意義や地域経済への貢献など、地域の企業の方々の生の声を聞く貴重な機会を得て、充実したキャリア教育の時間を過ごすことができた。さらに、企業との連絡・調整を学校運営協議会委員が担当したことは、教職員の負担軽減にもつながった。



【門松作りの様子】

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

今年度は、熱中症対策の観点から、体育大会の開催時期を9月初旬から10月12日に変更したが、この決定は委員の意見を伺いながら最終的に承認を得たため、スムーズに変更することができた。また、本校学校運営協議会会長が市教育委員会主催の「教員の働き方改革についての協議」に代表として参加し、建設的な意見を述べられた。学校運営に関わる事項は、常に学校運営協議会委員に確認または承認を得る形で進めており、この恒常的な連携体制によってスムーズな学校運営が実現できている。

(3) 地域貢献活動

姫城地区は数多くの地域活動やイベントが開催される地域であり、本年度も地域からのボランティア要請が多数寄せられた。本校の生徒は、六月灯や清掃ボランティア、空き缶・空き瓶の回収および選別作業、地域のイベントの手伝いなど、多岐にわたる活動に積極的に参加し地域に貢献した。特に、12月7日（日）に姫城地区自治公民館で行われた三世代交流餅つき大会には14名の生徒が参加した。生徒たちは、未就学児から高齢者まで様々な世代の方々と触れ合いながら、餅つきや餅作りの体験を通して地域活動に参画する形での貢献を果たした。このように、地域の方と一緒に学校や地域の行事に取り組むことにより、地域の方と生徒たちが触れ合う機会が生まれ、学校と地域が互いに貢献し合う関係性を築くことができた。



【餅つき大会の様子】

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 第2回3校合同会議では、本校生徒会役員も出席し、本年度、生徒会が主体となって取り組んできた校則の見直しについて提言発表を行い、3校の委員の方々に本校の取組を広めることができた。
- 教職員の働き方改革や部活動の地域展開については、今後も引き続き、協議会で議論を重ねていく必要がある。

7 次年度の方向性

- 学校・地域が連携したキャリア教育の充実
- 教職員の働き方改革や部活動の地域展開についての意見交換の充実